

1 単元名 『鳥獣戯画』を読む 日本文化を発信しよう

2 単元・教材について

本単元は、『鳥獣戯画』を読むと「日本文化を発信しよう」の複合単元である。始めに『鳥獣戯画』を読み取る活動を通して、作者が読者を引きつけるための書き方の工夫や絵の提示の仕方の工夫に気付き、作者の考えを伝わりやすく表現するための論の進め方について考える。次に、「調べた情報の用い方」と「日本文化を発信しよう」を読む活動を通して、著作権の取り扱い方やパンフレットの構成の仕方について理解し、鳥獣戯画で学習した表現の工夫を活用することができるようにする。

そこで、『鳥獣戯画』を読むでは、「説明の仕方（論の展開）について」「表現の工夫について」「絵の示し方について」という3つの視点について、筆者の表現の工夫を捉えて読み取ることができるようにする。

3 研究との関わり

(Ⅱ) - 1 個人追究で一人一人が考えをもつために「筆者の着目点」「筆者の評価」という2つの視点を提示する。

(Ⅱ) - 2 「鳥獣戯画が人類の宝だとする筆者の主張に対して納得できるか」という発問をすることで、児童が単元全体に目を向けられるようにする。

4 単元の目標

◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。

◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けて必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。

単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。(3オ)	「書くこと」において、筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考えている。(B1イ) 「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き方を工夫している。(B1エ) 「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。(C1ウ)	文章と図表などを結び付けて必要な情報を読み取ったり、構成を工夫して書き表したりすることに粘り強く取り組み、学習の見通しをもってパンフレットを作ろうとしている。

5 単元指導計画

次	時	単位時間の目標	評価規準	並行読書
1	1	鳥獣戯画に描かれた絵の動画を見たり、本文を読んだりする活動を通して、鳥獣戯画の絵巻物に興味をもち、日本文化について調べて分かったことを書きまとめる学習の見直しをもつことができる。	鳥獣戯画について関心をもち、学習の見直しをもって、日本文化を発信する学習に取り組んでいる。(学びに向かう力・人間性)	煙火協会 監修) 和楽器(和の技術を知る会) /世界遺産になった食文化(服部津貴子監修) /花火の大図鑑(日本
2	2	「筆者の着目点」「筆者の評価」という視点で①～③段落を読み取る活動を通して、筆者の鳥獣戯画に対する絵についての解釈や評価を読み取ることができる。	筆者が絵として着目した部分を理解し、評価を読み取っている。(思考力・判断力・表現力等)	
	3	「筆者の着目点」「筆者の評価」という視点で④～⑦段落を読み取る活動を通して、筆者の鳥獣戯画に対する絵巻物としての解釈や評価を読み取ることができる。	筆者が絵巻物として着目した部分を理解し、評価を読み取っている。(思考力・判断力・表現力等)	
	4	「筆者の着目点」「筆者の評価」という視点で⑧段落を読み取る活動を通して、鳥獣戯画が人類の宝であるという筆者の主張に気付き、読者が納得するための筆者の書き方の工夫について考えることができる。	筆者の表現の工夫について考えている。(思考力・判断力・表現力等)	
	5	鳥獣戯画を「論の展開」「表現の工夫」「絵の示し方」という3つの視点から読み取る活動を通して、読み手に伝わりやすい書き方に気付き、論の進め方について考えることができる。	「論の展開」「表現の工夫」「絵の示し方」の視点をもとに読み取っている。(思考力・判断力・表現力等)	
	6	筆者の書き方の工夫をまとめる活動を通して、自分が書く時の活用したい説明の仕方や絵の提示の仕方について考え、自分の考えを表現することができる。「調べた情報の用い方」を読む活動を通して、著作権の取り扱い方について理解し、調べ学習で活用できる。	自分が取り入れたい筆者の書き方の工夫について書いている。(思考力・判断力・表現力等) 著作権の取り扱い方について理解している。(知識・技能)	
3	7	日本文化を伝えるパンフレット作りに向けて、グループで題材を決める活動を通して、日本文化のよさについて考え、パンフレット作りの構想を練ることができる。	取り上げたい日本文化について意欲的に話し合い活動をしている。(学びに向かう力・人間性)	
	8	本や新聞、インターネットなどを活用する活動を通して、どの手段が有効かを考え、グループで調べる題材について必要な情報を調べることができる。	本やインターネットなど目的に応じて適切な手段を考え、必要な情報を集めている。(知識・技能)	
	9	パンフレットの構成を考える活動を通して、目的に応じて「論の展開」や「表現の工夫」、「絵の示し方」を工夫すれば、より読み手に伝わりやすいことに気付き、下書きを書くことができる。	日本文化の魅力が伝わるように構成や絵、写真などを工夫している。(思考力・判断力・表現力等)	
	10	パンフレットの下書きをグループで推敲する活動を通して、グループの人からの助言を取り入れ、清書することができる。	読み手に伝わりやすくするために、よりよい表現について考えている。(思考力・判断力・表現力等)	
4	11	他のグループが作ったパンフレットを読み合う活動を通して、工夫されていると感じたことを見つけ、伝え合うことができる。	他の人のパンフレットを読み、構成や表現の工夫を見つけ、伝え合っている。(思考力・判断力・表現力等)	

6 本時のねらい (4/11)

「筆者の着目点」「筆者の評価」という視点で⑨段落を読み取る活動を通して、鳥獣戯画が人類の宝であるという筆者の主張に気付き、読者が納得するための筆者の書き方の工夫について考えることができる。

7 本時の展開

単元のきよみずガエル君

筆者の考えや表現の工夫から、分かったこと考えたことは何かな。読者に伝わりやすいパンフレットを作るために、自分が工夫したことは何かな。



第1ブロック(終末)

振り返り(きよみずガエル君)
筆者は、読者を納得させるために、筆者が着目した部分を具体的に説明し、鳥獣戯画のすこさを伝えていることが分かりました。
⑨段落でも、筆者の書き方の工夫や筆者の評価が書かれていることが分かりました。

単元に目を向けさせる発問
鳥獣戯画が人類の宝だと言う筆者の主張に対して、納得できるだろうか。
・私は、筆者の主張に納得します。理由は、現在のアニメや漫画があるのは、鳥獣戯画のような絵巻物が平安時代からあったからだと思います。
・僕は、筆者の主張に納得します。理由は、筆者の評価がたくさんでてくるので、自分も鳥獣戯画が素晴らしいと感じられるからです。

まとめ
『鳥獣戯画』は、国宝だけでなく、人類の宝だ。

深める(読み取る)(一人読み↓全体交流)
「筆者の着目点」
・十二世紀という大昔にできた絵巻物。
・まるで漫画やアニメのような絵巻物。
「筆者の評価」
・実に自然でのびのびとしている。
・なんとすてきでおどろくべきことだろう。
・世界を見渡しても、そのころの絵で、自由闊達なものほど「
『鳥獣戯画』は、だから、国宝だけでなく、人類の宝だ」

課題
「『鳥獣戯画』を読む」で、筆者が一番伝えたかったことを読み取る。

第3ブロック(導入)

前時までの学習の振り返り
鳥獣戯画・・・「漫画の祖」「アニメの祖」
日本文化の大きな特色
国宝級の絵巻物
平安時代に描かれた絵巻物

つかむ
⑨段落には、何が書かれているだろうか。

- ・自分が筆者の考えに納得できるかを考えることで、読者を意識した筆者の書き方について目を向けられるようにする。
- ・ホワイトボードを使って班で交流することで、自分の考えを話す場を設定し、意見を深められるようにする。
- ・第1ブロックの時間を位置付けることで、読者を意識した筆者の書き方を考え、第三次とのつながりがもてるようにする。

- ・読み取る内容を考えながら本文が読めるように、課題後に一人で音読をする。
- ・鳥獣戯画の絵や絵巻物の読み取りと同じように、「筆者の着目点」「筆者の評価」という2つの読み取りの視点を示すことで、⑨段落での筆者の考えや書き方の工夫を読み取る。
- ・筆者が、『鳥獣戯画』を国宝だけでなく、人類の宝だ、と主張していることを板書に位置付ける。

- ・掲示物等を活用し、これまでに筆者が鳥獣戯画をどのように評価してきたのかを端的に振り返る。
- ・⑨段落は、鳥獣戯画のこれまでの評価がまとめられ、筆者の主張が書かれていることに着目する。